

公益社団法人 私立大学情報教育協会

2021 年度第 2 回

栄養学、薬学、医学、歯学、看護学、リハビリテーション学関係学グループ  
分野連携合同会議議事概要

I. 日時 : 令和3年10月30日(土) 14:00~16:00

II. 場所 : ZOOM 会議室

III. 出席者

(栄養学) 酒井委員長、原島委員、由良委員、(薬学) 黒澤委員長、齊藤副委員長、石川委員、西村委員、大嶋委員、徳山委員、(医学) 高松委員長、門川委員、藤倉委員、渡辺委員、(歯学) 神原委員長、片岡委員、新井委員、藤井委員、奥村委員、花田委員、辻林委員、(看護学) 中山委員、永吉委員、丸山委員、(情報専門教育分科会) 大原アドバイザー、(データサイエンス教育分科会) 渡辺美智子アドバイザー  
事務局: 井端事務局長、中村

IV. 議事の経過

黒澤委員長(薬学分野)の議事進行により、分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の具体的な開催内容について検討を行った。話題提供者と内容についての確認、意見交流のテーマ・内容の検討と確認および、事前アンケートの内容と対話集会の具体的な進め方について検討を行い、以下のとおり決定した。

1. 開催要項の検討および決定

(1) 話題提供内容と提供者

① 栄養学分野

話題提供者: 中京学院大学短期大学部健康栄養学科准教授 由良 亮 氏

タイトル: 「反転授業で興味・関心をリクエストし、学修意欲の向上を目指す遠隔講義の取り組み」

内容: 知識・興味不足による学修意欲の低下が進行している食品学総論を改善するため、教科書を用いた予習解説動画による事前オンデマンド学習で、重点的な説明や興味を持った点を掲示板に書き出させ授業中に解説することで、学生の目的意識や理解度が大幅に向上した取り組みを紹介する。

② 薬学分野

話題提供者: 帝京平成大学薬学部教授 菊地 真実 氏

タイトル: 「実務実習前後に実施したオンラインによる参加型学修の工夫、成果、課題の報告」

内容: 「薬剤師としての心構え」、「患者・生活者本位の視点」を身に付ける態度教育として参加型学修を6年間学修しているが、これをオンラインで代替した。5・6年次では、実務実習前後にLMSで個人ワークによる学生レポートの相互閲覧、グループワークによる他学生へのコメント投稿、テレビ会議による討論や発表のハイブリッドな授業運営を通じて、考える授業になることの期待について紹介する。

③ 医学・歯学・薬学・看護学分野

話題提供者: 元 関西医科大学大学情報センター准教授 渡辺 淳 氏

タイトル: 「医療に必要なデータサイエンスのアクティブラーニングモデルの提案」

内容: 新型コロナウイルス感染症等を題材に、感染症数理モデルを用いた解析を体験することにより、データを用いて科学的に考察するオンデマンド型授業モデルを紹介する。

④ 医学・歯学・薬学・看護学・栄養学分野

話題提供者: 東邦大学医学部医学教育センター教授 廣井 直樹 氏

タイトル: 「ICTを活用した医療系学部合同の生命倫理教育の取り組み」

内容: 医療系学部4年次600名を対象に、基調講演をオンデマンドで事前学修させた後、10のグループでブレイクアウトルームを用いてファシリテータを配置し、複数のテーマについて課題認識・設定、問題解決の議論・発表・評価・講評を行い、良い成果が出ている取り組みを報告する。

⑤ 医学・歯学・薬学・看護学・栄養学・情報コミュニケーション学分野連携

話題提供者：昭和大学歯学部歯科医学教育推進室主任教授 片岡 竜太 氏

タイトル：「ICT 活用による分野横断型実験授業の取組み」

内容： 問題解決力養成を目的に、医療・福祉・栄養・情報コミュニケーション6分野の学生2グループが、掲示板、Zoom によるテレビ会議で意見交換し、コロナ禍時代の持続可能な医療・健康生活を考える授業を5回試行し、その成果と問題点について報告する。

(2) 意見交流のテーマ内容の確認および決定 意見交流のテーマについては、前回の会議を踏まえ以下の4点とすることを確認した。

- ① 学修者本位の教育への転換、遠隔と対面を効果的に組み合わせた PBL の工夫と課題及び戦略
- ② ネット上で多分野の知識を組み合わせ、知の創造を訓練する実験授業モデルの可能性
- ③ 対面と遠隔を組み合わせたプラットフォーム作りと課題の整理
- ④ ビデオ試問による思考力等の点検・評価・助言モデル構想の具体的なイメージ確認と課題

2. 事前アンケートの内容検討および決定

意見交流の運営に役立てるため、申込者には以下の項目について任意のアンケートを求めることを確認した。

- ・学修者の学びの個別最適化に向けて配慮している取組みについて
- ・遠隔授業の状況と学修評価の方法、不正防止対策、学生側の課題について
- ・問題発見・課題解決型教育(PBL)の導入理由について
- ・「対面と遠隔を効果的に組み合わせる PBL」の工夫と課題について
- ・「対面と遠隔を組み合わせた授業全体の学修プラットフォーム」に求められる機能について

3. 開催日時と会場

開催日時：令和4年1月22日(土) 13:00~17:00

オンライン会場：私学会館(アルカディア市ヶ谷)より ZOOM 配信

4. 運営シナリオの検討と役割分担

対話集会における進行役委員を各分野から選出し、当日に事前打合せを行うこと、次回は対話集会とすることを確認した。